

平成24年度第1回農林総合研究センター課題内部評価結果 (中間評価)

- 1 評価実施組織 農林水産技術推進会議農林部会
- 2 評価方法 農林水産部所管試験研究評価実施要領に準じる
- 3 評価の経過 各専門分科会で協議し、農林水産技術推進会議農林部会に報告・承認
- 4 評価区分 中間評価
- 5 総合評価 「継続した方がよい」、「部分的に検討する必要がある」、「中止すべきである」の3区分
「部分的に検討する必要がある」、「中止すべきである」と評価された課題は「所見・指摘事項等」と「指摘事項等に対する対応」を記載
- 6 評価結果と対応 下記の通り

課題 No.	研究課題名 大課題 中課題 小課題 細目課題	研究 期間	研究 概要	総合 評価
1	2 6 果樹の新品種育成と導入・選定	H22～25	他の研究機関等で育成された品種について、県内生産者が円滑に導入できるように、適応性を調査する。鳥取県園芸試験場が育成した赤ナシ「新甘泉」及び青ナシ「夏さやか」等について、果実品質調査及び生態調査を行う。併せて、他の主要品種についても同様の調査を行い、比較資料とする。これにより、新品種の本県での適応性が明らかになり、生産者への速やかな情報提供を行うことができる。	継続した方が よい
	3 落葉果樹の優良品種・系統の導入と選定			
	ニホンナシの地域適応性検定試験			
2	2 6 果樹の新品種育成と導入・選定	H21～26	(独)果樹研究所育成系統の中から、本県の気象及び土壌条件に適応する甘柿の系統を選定する。本年度は「安芸津22号」～「安芸津25号」の4系統を供試し、樹の特性及び果実品質を明らかにする。	継続した方が よい
	3 落葉果樹の優良品種・系統の導入と選定			
	カキの第7回系統適応性検定試験			